

令和6年度第1回総合計画審議会 委員からの質問・意見と市の考え方

①実施計画（案）について

委員名	資料番号 ページ	質問・意見	市の考え方	関係部局
		目標値設定 指標によって設定算定根拠は違おうだろうが、現状算出根拠 値に比して5倍近くの数であったり、数%の増という数値があるため、どのように算出されているか。 (例) 資料1・P20 健幸ポイント応募人数 112人→500人 がん検診受診率 6.3%→7.3%	目標値の設定に当たっては、各施策・事業の現状や国・県の計画、各分野の個別計画における目標指標、財政計画等を踏まえ、設定しております。 なお、例示された健幸ポイント応募人数については、「元気はしま21（第3期健康増進計画）」において定めている目標値としております。同人数については、新型コロナウイルス感染症等の影響により近年減少傾向にある中で、応募人数をコロナ禍前の平成30年度実績程度まで増加させることを目標としております。 また、がん検診受診率については、受診勧奨や受診しやすい環境整備を行ってきたことに伴う近年の増加傾向による伸び率に基づき、目標値を設定しております。	企画部 健幸福祉部 子育て・健康担当
	資料1 P.31	Ⅱ ともに拓く 学び育むまち<子育て・学修> 2 学校教育 事業名：小中一貫教育の推進 学校統合を含めた、新たな義務教育学校や小中一貫校の構想はあるのか。	教育委員会の附属機関の「新しい時代の学校構想検討委員会」からの答申(令和6年11月1日)の内容にもありましたが、今後、委員ご指摘の教育制度や学校の適正規模・適正配置について、児童生徒や保護者、地域の意見を伺いながら小中一貫教育を進めてまいりたいと考えております。	教育委員会 事務局
	資料1 P.62、 P.66	Ⅳ ともに助け合う 安全・安心なまち<市民生活> 1 防災、2 消防 目標指標 水防団・消防団の充足率は、目標値であるので100%は良いと思うが、現状から考えて到底不可能と考える。	水防団員・消防団員の確保は全国的な課題となっております。当市においても同様に課題となっておりますが、地域の安全を確保する上で水防団員・消防団員の力は不可欠であることから、条例に定める定数を充足するよう、団員の確保に努めてまいります。	消防 建設部
花村委員	資料1 P.67	Ⅳ ともに助け合う 安全・安心なまち<市民生活> 3 交通安全・地域防犯 現状・課題 オレオレ詐欺を含む特殊犯罪とあるが、特殊詐欺とどう違うのか。	警視庁の定義に基づき、特殊犯罪でなく特殊詐欺という表現が適切であると考えますので、以下のとおり修正します。 (修正後) オレオレ詐欺を含む特殊詐欺 (修正前) オレオレ詐欺を含む特殊犯罪	生活環境部
	資料1 P.81	Ⅴ ともに築く 便利で快適なまち<都市基盤> 1 道路 事業名：適切な都市機能の配置 立地適正化計画とはどのような計画か。	立地適正化計画は、急激な人口減少や高齢化が進む中、自然災害の激甚化や頻発化の課題を含め、持続可能な都市構造を目的として、コンパクトなまちづくりを推進するため、法（都市再生特別措置法）に基づき、都市機能の集約や居住の誘導を図る区域、施設等を定める計画です。 なお、ご質問を踏まえ、立地適正化計画の用語説明を追加します。	建設部
	資料1 P.84	Ⅴ ともに築く 便利で快適なまち<都市基盤> 2 公共交通 目標指標 目標指標に、運転免許証自主返納者数を挙げてはどうか。	市が実施している運転免許証自主返納者への支援事業は、市コミュニティバスの利用促進施策の1つであるため、ここでは総合的な目標指標として、年間のコミュニティバスの利用者数を設定しております。	生活環境部
	資料1 P.101	持続可能なまちづくりを支える考え方 3 人権・多様性の尊重 目標指標 人権を考える会に参加する人は、もともと関心・理解が深いと考える。「人権を考える会参加者の人権に係る関心・理解の深まり度合い」の指標について、96.9%→97.0%はあまり意味がないのではないかと。協働の考え方で示されている事業者が開く研修等の開催回数など他の指標を考えたい。	人権・多様性の尊重については、市人権施策推進指針に基づき策定されている、女性やこども、高齢者等にかかる各計画の中で、各事業を展開、その進捗を図っているところです。 今回の指標名にある「人権を考える会」は、人権課題等への関心や理解が深い方も含め、広く市民の皆様に、より理解を深めていただく場として開催しており、同会での学びが、参加された方により、家庭や地域全体へと広がるものと認識しております。従って、同指標については、人権・多様性の尊重にかかる事業の進捗を図る上で、妥当な指標の一つであると考えております。	市民協働部

②基本構想（修正案）について

委員名	資料番号 ページ	質問・意見	市の考え方	関係部局
川合委員	資料3 P.10	I ともに支える 健やかに暮らせるまち＜健幸・福祉＞ 1 地域福祉 実施計画に「重層的・包括的な支援体制の推進」の事業を位置付けたことを踏まえ、基本構想を以下のとおり修正したかどうか。 （修正後） 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、総合的な福祉サービスを<u>提供し、関係機関による重層的支援体制を整備するとともに</u>、誰も取り残されない持続可能な社会の形成に向け、支え合い・助け合いの意識づくりを進めます。 （修正前） 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、総合的な福祉サービスを<u>提供するとともに</u>、誰も取り残されない持続可能な社会の形成に向け、支え合い・助け合いの意識づくりを進めます。	実施計画と基本構想との整合性を図るため、基本構想について以下のとおり修正します。 （修正後） 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、<u>関係機関による包括的な支援体制を構築し、総合的な福祉サービスを提供するとともに</u>、誰も取り残されない持続可能な社会の形成に向け、支え合い・助け合いの意識づくりを進めます。 （修正前） 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、<u>総合的な福祉サービスを提供するとともに</u>、誰も取り残されない持続可能な社会の形成に向け、支え合い・助け合いの意識づくりを進めます。 ※併せて実施計画（案） P.7 施策の方針も同様に修正	健幸福祉部
今井田委員	資料3 P.12	II ともに拓く 学び育むまち＜子育て・学修＞ 2 学校教育 資料2、P.2に「新しい時代の学校構想検討委員会の答申を踏まえ、よりこどもたちの視点を大切にした施策展開を図るため、修正」とあり、「さらに、こどもたちの願いを実現するため、～」と修正されている。 後に「学校施設・設備の維持管理、防災教育の推進、働き方改革の推進など、社会情勢及び教育の動向に合わせた教育環境の充実を図ります」と続くが、この点について、 ・こどもたちのどんな願いを実現するためなのか、具体的なイメージが浮かびにくい。 ・そのため、「こどもたちの視点」と後半部分とのつながりに違和感を覚える。	「こどもたちの願いを実現するため」と修正したのは、こどもたちの願いの実現に力をいれていくことが学びの充実につながるかと考えているためです。 例えば、学校施設・整備でいえば、ICT機器等を活用した学びができる環境や多様なスポーツ、文化活動に触れる環境を整えることが、将来的にこどもたちの探究的な学びや協働的な学びの充実につながると考えています。 また、防災教育でいえば、自分の命の大切さを学ぶことで、将来的に自分の命は自分で守る意識やともに助け合う意識を高め、自助と共助に対する学びの充実につながると考えています。 さらに、働き方改革の推進でいえば、教員がゆとりをもってこどもたちに向き合うことで、こどもたちの願いに耳を傾け、夢や実現に向けた指導の充実が可能となります。	教育委員会 事務局